

【試験名】

傍大動脈リンパ節転移を伴う子宮頸癌に対する IMRT を用いた根治照射に関する遡及的研究

【研究の対象】

2019 年から 2022 年の間に、当院で傍大動脈リンパ節転移を伴う子宮頸癌に対して IMRT(強度変調放射線治療)を用いた根治的放射線治療を行った患者さんを対象とします。

【研究の目的・方法】

子宮頸癌は早期から進行期まで根治的放射線治療の適応となり、原発巣と骨盤リンパ節を含む領域への外部照射と、子宮原発巣への腔内照射から構成されます。外部照射の治療計画では、従来は腹部骨盤の病変部位および転移を生じやすいリンパ節領域(標的)に対して、前後2方向または前後左右の4方向から3次元原体照射(3D-CRT)で行っていました。この方法では標的の形状に概ね合わせた照射範囲を設定することが可能ですが、標的と重要臓器が近接する場合や凹凸の入り組んだ形状の標的に対しては困難なことが多くあります。そこで近年では360°あらゆる方向から強度を変えながら照射する IMRT を用いることで、腹部骨盤領域の重要臓器への余分な照射を極力低減し、副作用を減らす試みを行っています。

当院では、傍大動脈リンパ節転移を伴う子宮頸癌に対して2019年にIMRTを導入し、約2年が経過しました。そこでこれまでの治療成績を遡及的に検討し、改良出来る点がないか検証したいと考えています。また治療効果や有害事象に関連する因子を解析することで、今後の新たな治療法開発の方向性を見出せないかも検討します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療情報の中から、患者さんの病歴、検査データ、治療歴、治療内容、再発の状況、副作用の発生状況などを抽出します。

【利益相反】

本研究に関して開示すべき利益相反はありません。

【お問い合わせ先】

本研究に際しては、お名前や生年月日など、個人を特定出来る情報が公表されることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、診療情報が研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合

でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究へのデータ利用を拒否される場合の連絡先：

兵庫県立がんセンター 放射線治療科 上藺玄

〒673-0021 兵庫県明石市北王子町 13-70 TEL：078-929-1151 FAX：078-929-2380